

顔認証エンジンの提供

顔認証技術を活用した独自アプリケーションの開発をご希望のお客様に、顔認証ソフトウェア開発キットや顔認証エンジンをご提供しています。
また、開発内容に応じたサポートもしています。



顔認証SDK

顔認証エンジンを活用するためのソフトウェア開発キットをご提供。

顔認証SDKをご活用いただくことで、お客様ご自身で顔認証システムの導入を容易に対応いただけます。

開発例

医療情報システム	検査端末へのログイン	会員システム	出退勤管理
顔認証による医療現場での本人確認で、人為的ミスを防止します。	顔認証で利便性を向上しながら、高度なセキュリティー環境を構築します。	会員証を携帯しなくても認証できるため、顧客サービスを向上できます。	顔認証により出勤者の人物を特定、入出館の時刻を記録してCSV出力。勤怠管理システムと連携します。

仕様

来訪者検知システム	
カメラ接続台数	最大150（照合PC30台）
認証速度	1秒未満
検出顔数	最大50
登録可能数	最大20,000（顔と車両ナンバーの合計）
通知方法	Eメール、バトライト、接点信号
検知履歴保存数	最大20,000（365日以内）
動画／静止画保存期間	最長 14日/60日
操作権限管理	最大100人（10グループまで）、 操作履歴保存 最大365日
顔向き／角度	左右顔向き登録対応/30度以内推奨
外部システムインターフェース	接点信号、API
データビューアー保存日数	5年間

顔認証システムについて詳しく知りたい場合は、

グローリー 顔認証

※製品の仕様・デザインの一部を予告なく変更することがあります。
※製品写真は、警告・注意シールなどを省略している場合があります。
※印刷により、実際の色と異なる場合があります。
※ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
※ご利用される際には、個人情報保護法をはじめとした法令を遵守し、お客様のプライバシーに配慮した活用、情報管理の徹底をお願い致します。

Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

製造・販売

グローリー株式会社

本 社 〒670-8567 兵庫県姫路市下手野1-3-1 TEL(079)297-3131(代表)
商品企画統括部 アライアンス企画部 画像ソリューション販売企画グループ
〒101-8977 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX TEL(03)5207-3020
東日本支店 (048) 654-8601 東 海 支 店 (052) 872-3381 西日本支店 (092) 451-0351
東北営業部 (022) 291-5480 金融営業部 (052) 872-3381 中国営業部 (082) 261-0430
上信越営業部 (027) 361-0285 リテール営業部 (052) 872-3381 四国営業部 (087) 815-3610
関東営業部 (048) 654-8601 近 畿 支 店 (06) 6202-0047 九州営業部 (092) 451-0351
首都圏支店 (03) 5804-2560 金融営業部 (06) 6202-0047
金融営業部 (03) 5804-2431 リテール営業部 (06) 6202-0047
リテール営業一部 (03) 5804-2442 北 陸 営 業 部 (076) 223-2177
リテール営業二部 (03) 5804-2474

販 売

北海道グローリー株式会社

本 社 〒060-0013 北海道札幌市中央区北13条西17-1-45 TEL(011)707-4111(代表)
旭 川 支 店 (0166) 24-5111 函 館 営 業 所 (0138) 47-2299 稚 内 営 業 所 (0162) 22-5712
釧 路 営 業 所 (0154) 64-9600 帯 広 営 業 所 (0155) 27-2774 苫 小 牧 営 業 所 (0144) 37-2114
北 見 営 業 所 (0157) 23-3893
このカタログの記載内容は、2025年5月現在のものです。

※ **GLORY** はグローリー株式会社の登録商標です。

SG059 G03SS0525 NK

Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

グローリー 画像ソリューション 総合カタログ

IMAGE RECOGNITION SYSTEM SOLUTION LINE UP



Ver.5

Image Recognition System

信頼を創造し、安心を支える、 グローリーの画像ソリューション。

高度にシステム化された社会では、精度の高い個人認証が必要です。
さまざまな認証技術のなかでも、
精度の高さで最も注目されるのが顔認証システム。
テロ防止などの社会のセキュリティ対策はもとより、
顧客サービスの向上、人件費削減などの業務効率の改善にも、
顔認証システムの可能性は大きく広がっています。
先進の技術と豊富な実績で、
人と社会の「新たな信頼」を創造するグローリーの「顔認証技術」。
安心・安全そして快適な社会環境をつくり出す
私たちのソリューションを、ぜひご活用ください。

厳格性の高い画像識別技術

通貨処理で培った認識・識別技術を 顔認証・骨格認識に展開

グローリーは、1918年の創業以来、通貨処理機のパイオニアとして、
「認識・識別」と「メカトロニクス」の二つのコアテクノロジーで、
ミスの許されない通貨識別の分野において、揺るぎない評価を得てきました。
100年を超える確かな実績と経験のもと、さまざまな市場で実績を残してきた
その技術を応用して、スピーディーで高精度な「顔認証システム」を開発。
開発からメンテナンスまで自社一貫体制で対応。
お客様のニーズに的確かつスピーディーに対応することで
安心・安全な社会の発展をサポートします。



実績と自社一貫体制による精度の向上

グローリーの顔認証システムの特長



画像識別技術を活用

通貨処理製品を中心に、さまざまな分野で実績を残してきた画像識別技術を活かした「顔認証システム」を開発。最高クラスの顔認証精度を誇ります。



自社一貫体制

顔認証技術の研究からシステム開発、販売・保守メンテナンスまで、自社一貫体制で対応。社会のニーズをとらえ、お客様の要望に応える製品を開発・提供しています。



スピード認証

顔の撮影から認証完了まで、平均1秒以内の業界トップレベルの高速認証を実現。顔認証がスムーズにできるので、認証する時間のストレスを感じません。

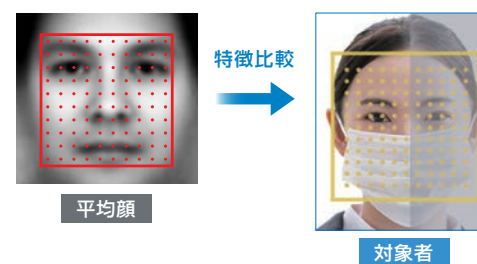


日常の変化に対応

眼鏡の有無といった日常の変化に対し、安定した認証が可能。他人受入率:0.01%、本人拒否率:0.5%*という高い認証精度を誇ります。
※当社の独自評価

グローリーの顔認証技術①

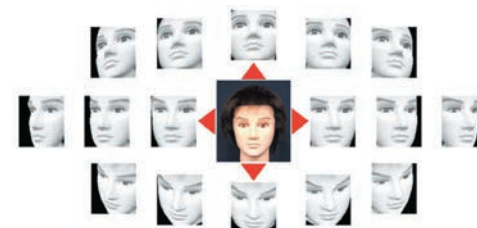
今までのアルゴリズムにディープラーニングの手法追加



登録した顔のデータと、抽出した顔のデータを照合し瞬時に認識する今までのアルゴリズムにディープラーニングの手法を加え、1,000万件以上の画像から学習した特徴を正確に捉えることで、高精度な認証を行っています。

グローリーの顔認証技術②

斜め顔の検出でも認証が可能に



自動的に「任意角度の顔」を推定し、「角度ごとに特徴量を補正」することができます。カメラ撮影条件を緩和できるため、運用性の向上や利用シーンの拡大に寄与します。

Solution

グローリーの
顔認証技術のソリューション

来訪者検知システム P.4

- VIP検知
- 不審者検知
- 離院事故予防
- 車両ナンバー認識

入退室管理システム P.6

- 入退室管理
- 顔認証ゲート

骨格認識システム P.7

顔認証エンジンの
提供

顔認証SDK

裏面

来訪者検知システム

VIP検知

大切なお客様のご来訪を、スピーディーにキャッチ。おもてなしのタイミングを逃しません。

顧客情報のシステムと連携することで、登録済みVIP顧客の来訪を顔認証で検知して、金融機関やホテルなどで重要なお客様への特別なおもてなしを可能にします。

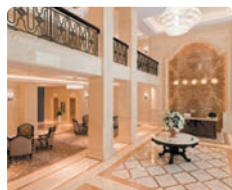
導入施設例

金融機関



特別なお客様の来訪を素早く把握。お客様の目的に合った案内がスムーズに行えます。

ホテル



お客様の来訪を瞬時にお知らせ。上質なサービスへと結びつけます。

レストラン



VIP顧客の来店をお知らせして、予約確認やお客様情報の把握ができます。

不審者検知

要注意人物の来場を、いち早く検知。防犯準備、万引き防止に効果を発揮します。

登録済み要注意人物の来訪を検知して、管理者モニター画面に不審者情報を通知。施設セキュリティのご担当者様をサポートします。

導入施設例

スーパー



要注意人物の来店を把握し、監視体制を強化。万引き等を未然に防止できます。

ショッピングセンター

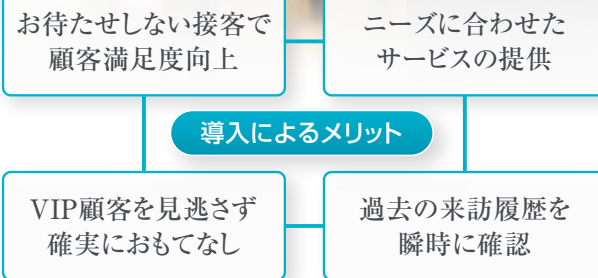


要注意人物の来訪を検知して、迷惑行為を予防できます。

空港



入国時に大勢のなかから要注意人物を自動検出し警備の厳正化を実現します。

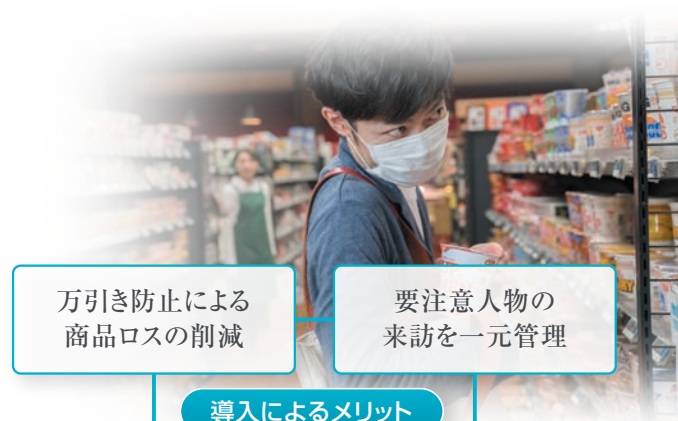


システム概要

監視カメラに映った顔を自動検出し、登録済みのVIP顧客情報を管理者モニター画面に通知します。



●管理者モニター画面



システム概要

本部管理システム

顔認証システムを複数店展開されているユーザーにて、本部からの操作・管理を行い、現場店舗業務の負担を軽減します。



●来店リスト管理画面

離院事故予防

予期せぬ外出を顔認証システムで検知。交通事故や行方不明を予防し、患者様の安全性が向上。

見守りが必要な入院患者様が病院外へ出ようとされた際、顔認証カメラが検知して発報。無断離院を未然に防止し、患者様の安全性を確保。施設の信頼性を向上します。

導入施設例

病院



複数の出入口や多層階ごとの無断離院を予防。病院の信頼性を向上します。

介護施設



予期せぬ外出による事故を予防。事故防止を最小限のヒューマンリソースで実現。

高齢者向け住宅



サービス付き高齢者向け住宅の安全性を強化し、入居者様のご家族の安心を向上します。

車両ナンバー認識

車両ナンバーを認識・照合して発報。サービスの向上や、防犯対策の強化を実現します。

自動車のナンバーを読み取り、文字として認識。事前に登録したナンバーと照合し同じ番号であれば発報します。

導入施設例

物流



物流拠点等への車両入出庫管理や守衛業務の効率化を実現します。

百貨店

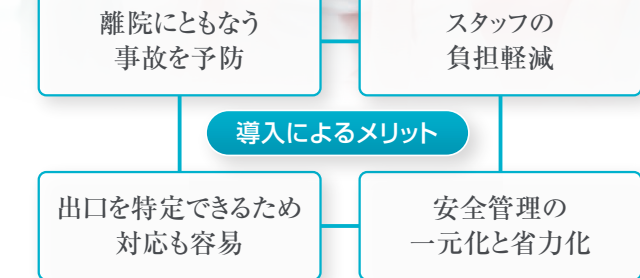


車両ナンバーと顧客情報をリンク、顧客満足度向上をサポート。

一般企業

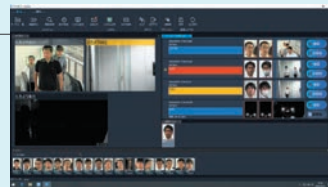


登録車両、非登録車両の検出や、入退場情報などを容易に管理。



システム概要

監視カメラが離院患者様の顔を検知すると、リアルタイムで登録者情報と照合して、複数拠点にアラームやメールなど、さまざまな方法でお知らせします。



●管理者モニター画面



システム概要

車両ナンバーを特定することで、特定車の検知、ゲートの解錠、セキュリティ強化や省人化、利便性を向上します。



●画面イメージ

入退室管理システム

入退室管理／入館管理

顔認証による厳正な扉の解錠。
セキュアな入退室を実現。

鍵やIDカードなどの媒体を使用しないため、盗難や紛失などを防止。入退室もスムーズです。



導入施設例

オフィス



鍵やICカードが不要なスムーズな入退室を実現、情報漏えい対策にも有効。

マンション



不審者の侵入を防止。安心・安全な環境を守ります。

病院



薬品庫などの特定エリアへの入退室をより厳正に管理。警備の省力化を実現、記録も残せます。

顔認証ゲート(オプション)

顔認証と連動してゲートを自動開放、
セキュリティ性向上と警備の省力化を両立。

登録済みの社員や顧客の顔を認証してゲートを開放。
登録者以外の入場をシャットアウトし、施設のセキュリティ性を向上します。

導入施設例

一般企業



セキュリティゲートの警備の手間を軽減しながら、確実な管理が行えます。

イベント会場

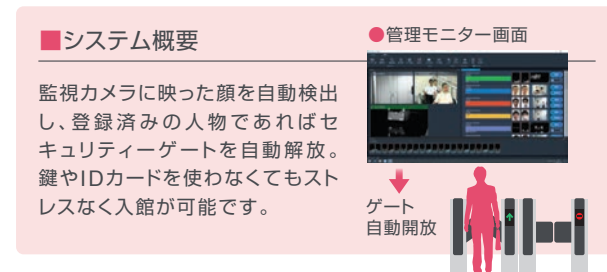
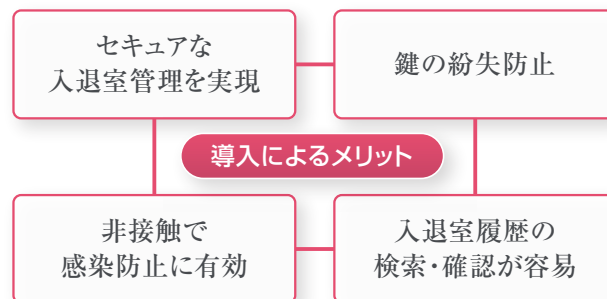


あらかじめ登録した人物だけにゲートを開放。不正な入場を防止します。

食品工場



登録した社員・スタッフ以外の入場を制限し、食の安全を守ります。



骨格認識システム

カメラ映像から人物の骨格を判断。
施設への侵入を検知するだけでなく、
マーケティング活用も可能。

骨格認識システムは、カメラ映像を活用し、人を認識することが可能なシステムです。
入退店の1エリア同時計数から一定エリアの滞留検知まで、セキュリティ利用のほかマーケティング活用も可能です。

導入施設例

金融機関



指定エリア内への人物侵入を検知。重要エリアのセキュリティを強化します。

大型商業施設



飲食店の待ち人数や、売り場での集客状況を把握。マーケティングに活かれます。

テーマパーク



来場者のカウントや男女比率を計測可能。いざという時の人数制限にも役立ちます。

4つの特長

入退場人数カウント機能



カメラ映像から人数のカウントが可能で、マーケティングへの活用や人数制限に活用できます。同一エリアでの入退室同時計数や集計データのグラフ表示など便利な機能も搭載。

年齢性別推定機能



「顔」の情報からマスク着用でも年齢・性別を推定可能。マーケティング活用や、販促ツールとして活用できます。集計データとしてグラフ表示もできます。

滞留検知機能



指定エリア内で一定人数や一定時間の滞留を検出・通知。マーケティング・混雑状況把握・感染症対策などに活用できます。既存の防犯カメラの使用もできるので導入コストも削減。

侵入検知機能



指定エリア内に人物が侵入したことを検知。重要物を管理しているエリアや、立入禁止エリアへの侵入を防ぎます。人物のみを認識するので誤検知を低減。防犯カメラの付加価値としても導入可能です。



システム概要

骨格認識データ表示例



ビューアソフトにてデータ閲覧が可能。5年間データを蓄積することで前月・前年等過去との比較が可能です。
既存の防犯カメラを活用でき、専用センサー設置の必要がなく低コストで導入できます。年齢性別推定、人物カウント、滞留検知などが可能です。